

平成29年9月4日

金属産業新聞(3面)に掲載されました

日東精工(株)(京都府綾部市、材木正巳社長)は、インドネシアにおける連結子会社のPT. NITTA OALAMINDONESIA (以下、NAI社)が、同国のPT. ISOGAI INDONESIAの、ねじ製造及び販売事業を譲り受け、NAI社の第2工場(フカシ工場)として稼働させると発表された。

日東精工(株)の発表内容は次の通り。インドネシア共和国における同社連結子会社であるNAI社は、1985年の設立以来31年と同社グループの海外工場としては、近年安定した経済成長を遂げる同国で堅調に

業績を伸ばしている。一方で、顧客満足度のさらなる向上のためには、製造

このような状況下、NAI社は、ISOGAI INDONESIAからねじ製造及び販売事業の一部を譲り受けることとした。

本件の実施によりNAI社は、自動車産業をはじめとする日系製造業が多く進出するジャカルタ郊外フカシ県に、ねじ製造工場を早期に保有できることとなり、製品供給力の拡大ならびに営業基盤の拡大が図れるなど、多くのメリットが期待でき

る。NAI社は本事業取得に加え、ねじ製造設備の購入など、戦略的投資を計画、本事業取得で保有する同工場を、自動車業界を中心とした特殊冷間圧造部品、ならびに太陽ボルト・ねじ工場と位置付け、製品供給体制を整えていく。第2工場(フカシ工場)は今年12月からの稼働を予定している。

インドネシア第二工場

日東精工 事業譲受、12月稼働へ